

園生活が生き生きとしたものになる。これはすべての「学園マンガ」に共通しています。このパターンは、子どもたちの無意識的な願望を表現していると思います。

いま学校では、小学生から将来設計を書かせて、その目標を達成するために、いつ何を学ぶかまで工程表を作成することを義務づけようとしています。「買い物リスト」を手にしてスーパーに買い物に行くような気分です。自分の学びの過程を一望俯瞰することを子どもたちに強要している。もちろん、それは無駄な迂回をせずに、最短距離、最短時間で、目標に到達することを支援するという学校側の「善意」ゆえなのでしょうけれども、それは子どもたちがほんとうに学校に期待していることを裏切っていると思います。子どもたちが求めているのは、「まだ知らない世界」に入ることだからです。思いがけない冒険に巻き込まれることだからです。

子どもが小学生の時に描いたシンプルな「地図」を手にして、わき目もふらずに歩き続け、どんな出来事が起きても、どんな呼びかけがあっても、一切の外部情報を遮断して、目的地をめざすということを見せて、いったい何をしようというのでしょうか。

学校で子どもたちが経験するのは「呼びかけ」です。誰かに「ねえ、君。ちょっと来てよ」と声をかけられる。これは自分であらかじめ仕込んでおくことができない。でも、学校というのはまさにこのような無数の「呼びかけ」が行きかっている場です。キャンパスをぼんやりと歩いていると、誰かに「ちょっと来て」と声がかけられる。そして、その呼びかけはたいいていの場合「ちょっと手を貸して」という「救援の要請」なんです。

これはあらゆる学園マンガに共通していますから、ぜひご自分でチェックしてみてください。冒険が始まる時の最初のきっかけになる言葉は「ちょっと手を貸して」なんです。そして、人間は「ちょっと手を貸して」というタイプの要請を断ることができない。

孟子に「惻隱の心」という言葉があります。これは井戸に落ちそうになった子どもを見たら、思わず手を出して助けようとする心根を指しています。別に計算があるわけじゃない。助けたら、子どもの親からお礼がもらえるかも知れないとか、助けないと「非人情なやつだ」と周りから責められるかも知れないとか、そういう計算抜きで、ぱっと手が出る。そういうものです。同じように、「ちょっと、手を貸して」と言われたら、ぱっと手が出る。とりあえず学園マンガではそうです。「ちょっと、そこ持って」とか「ちょっと、そこ抑えて」とかいきなり言われて、図らずも手を貸してしまつたところからそこで行われている不思議なゲームに巻き込まれる。

でも、これは人類学的真理なんです。人間は「救援の要請」を断ることができない。それは「救援信号の宛て先はそれを聴き取った者である」という太古からのルールがあるからです。聴き取った者が「宛て先」なんです。「宛て先」はあらかじめ決まっていたわけじゃない。聴き取ってしまった者が「宛て先」に指名されて、ただちに応答責任が発生する。その時、人は「主体」として立ち上がる。

「他者からの承認」というのは、いろいろなかたががありますけれど、要するに「あなたはそこにいる」と認められるということです。認知的にただ「あなたはそこにいる」と言うだけでもいいけ

れど、「あなたがそこにいることを私は願う」という遂行的なメッセージの方がずっと承認の強度は高い。そして、「あなたがそこにいることを私は願う」というメッセージを端的に表現したのが「ちょっと手を貸して」であり、さらに端的に言えば「助けて」ということになるわけです。人間は他者からの「助けて」という支援要請を聴き取った時に主体として立ち上がる。昔からそういうことになっているんです。

だから、学びの場に立った時に、子どもたちに必要なのは、キャリアパスポートだとかポ^{*4}ートフォリオだとかいう野暮^イったいものではなくて、**あ**オン・デマンドの教育では「呼びかけに応答する」というアクシデントが起こらない。オン・デマンド教育では、相手がディスプレイの中の先生の画像であっても、クラウドに置いてある取り置き映像でも、あちらから「ちょっと手を貸して」という要請が到来することはありません。構造的にない。

人生の早い段階で目的を決めて、以後まっしぐらに進むって、僕は少しもよいことだと思わないんです。たしかに、若くして人生の目的が決まって、以後**Q**揺るがなかったという人もいるかも知れませんが、ほとんどの人はそうではない。そういう人の場合は「あくび指南」的に、何となく気が向いて、ふらふらついていったところで「天職」に出会う。それも高い確率で、ということを通じてアナウンスしておきたいと思います。

(内田樹『複雑化の教育論』。なお、出題に際して一部本文を改めてある。)

注

*1 オン・デマンド：ユーザーの要求に応じてサービスを提供すること。

*2 バイ・アクシデント：思いがけなく、偶然に。

*3 キャリアパスポート：キャリア教育活動の一環として、児童生徒が感想や振り返りなど、自己評価のために蓄積していく記録のこと。

*4 ポートフォリオ：教育分野において、学習成果物を保存・蓄積し、役立てるもの。

[1]～[5] 傍線部 a～e のカタカナで書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

a ヒン^繁 (解答番号①)

①使用^{ヒン}度が高い。

②ヒン^富の差が激しい。

③海^{ヒン}性の植物を育てる。

④ヒン^客をもてなす。

⑤上^{ヒン}な立ち振る舞い。

b カイ^伝 (解答番号②)

①カイ^覧板を読む。

②カイ^諾を得る。

③病人をカイ^抱する。

④カイ^目見当がつかない。

⑤カイ^恨の情を抱く。

c カン^誘 (解答番号③)

①勝利にカン^喜する。

②希望的カン^測を語る。

③カン^気扇を取りつける。

④カン^境破壊の問題。

⑤和解をカン^告する。

d 行きカ^カって (解答番号④)

- ① 人コウが減少する。
- ② コウ大な原野。
- ③ 親コウを深める。
- ④ コウ場を見学する。
- ⑤ 歴史学を専コウする。

e タイ古 (解答番号⑤)

- ① 皇タイ子に拝謁する。
- ② 借金をタイ納する。
- ③ タイ化の改新。
- ④ 天タイ望遠鏡を見る。
- ⑤ タイ風一過の晴天。

[6] 傍線部 i 「ものにならない」の本文中における意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑥)

- ① 効果が出ない。
- ② もうけがない。
- ③ 教えることができない。
- ④ 大成しない。
- ⑤ つまらないことしかできない。

[7] 二重傍線部 A 「ほんとうにそうなんです」とはどういうことか。その説明として、もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑦)

① この落語では、八五郎が飽きて居眠りを始め、結果的に熊五郎より器用にあくびをするが、教育の本質はこの八五郎のように、ちょっと興味がわいていくようなことがきっかけになると筆者が考えているということ。

② 落語「あくび指南」では、熊五郎についていった八五郎が退屈してあくびをするが、それにとり、お連れさんの方がご器用だ」という点に気付いた師匠の発言に、教育の本質があると筆者が感じていること。

③ 教育の本質は、熊五郎のように自分が何を学ぶのかがわかっていることであり、その有用性や学ぶことの価値や意味について、好奇心を持って理解することが重要だと筆者が考えているということ。

④ 大学ではなくつついていった方が部活でも主将になったり、くつついていった方が研究室に入ってそのまま大学院まで行ったたりすることがヒン繁にあるが、そういう学びの意味がわかることが重要だということ。

⑤ ついていっただけの八五郎の「おおあくび」が師匠にほめられるように、意図せぬ副産物の中にこそ、芸事の新たな価値や意味が見いだされるといふ点が、教育の本質を突いているということ。

[8] 空欄部 P に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑧)

- ① とぼり
- ② まつり
- ③ むすび
- ④ あわい
- ⑤ いとま

〔9〕 波線部A「スタンス」の本文中における意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔9〕)

- ① 状況 ② 姿勢 ③ 結論 ④ 役割 ⑤ 教養

〔10〕 二重傍線部B「ふつうなら『あくびを習いに行く』と聴いたら、『バカ野郎』で終わります」とあるが、筆者がこのようにとらえるのはどうしてか。その説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔10〕)

- ① ふつうなら、あくびというのは退屈すれば出るものであって、わざわざ習いに行く芸事としての好奇心の対象にはならないから。
② ふつうなら、あくびという日本の古典芸能は、落語と同じように、師匠から弟子に直接伝えることでしか継承できないものだから。
③ ふつうなら、あくびを習うことがばかばかしいことだとわかっているとしても、本気で学んでいる人の前では、口に出すべきではないから。
④ ふつうなら、あくびがどういう技能で、どういう「有用性」があるかもわからずに、習いに行くのでは芸事として習う意味がないから。
⑤ ふつうなら、あくびというものは自然な生理現象であり、わざわざ教えているという師匠は、詐欺行為をしているのと同じだから。

〔11〕 二重傍線部C「この学びに対しての『開かれ方』の違い」の説明として、もっとも適切なものを、次の①～⑤から選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔11〕)

- ① 熊五郎は稽古を始めても覚えが悪くてなかなかかどらないが、八五郎はすぐにあくびを師匠にほめられるほどの腕前だという違い。
② 熊五郎はあくびを習うという目的が明確で、学びに対して開かれているが、八五郎はちょっと興味がわいてついていっただけなので、学びに対して開かれていないという違い。
③ 熊五郎はあらかじめあくびを学ぶことの価値や意味がわかったつもりで習い始めるが、八五郎は自分が何を習うかという知識はなく、何となく好奇心で学び始めるという違い。
④ あくびを習う意味をあらかじめ理解しているかどうかにかかわらず、わざわざあくびというものを習うか、あくびの指南は受けないかという違い。
⑤ あくびの師匠は、あくびという芸をきわめているが、熊五郎は覚えが悪く、八五郎は自分が何を習うかわかっていないという違い。

〔12〕 二重傍線部D「子どもたちの無意識的な願望」として適切ではないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔12〕)

- ① 「まだ知らない世界」に入ること。
- ② 思いがけない冒険に巻き込まれること。
- ③ キャンパスを歩いていて「ねえ、君。ちょっと来てよ」と声をかけられること。
- ④ 予定通りの学生生活を送らないこと。
- ⑤ 最短距離、最短時間で目標を達成すること。

〔13〕 二重傍線部E『「買い物リスト」を手にしてスーパーに買い物に行くような気分』とあるが、これはどのような気持ちを例えているのか。その説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔13〕)

- ① 事前に学校側が準備した将来設計のとおり生きていくことが、最も簡単で費用のかからない生き方だと思ふような気持ち。
- ② いつ何を学ぶか事前に全て決めて、その通りに学習を進めれば、将来の目標を達成できると思っているような気持ち。

③ 買い物リストを持っている方が効率よく買い物ができるように、自分の将来設計を小学生の時に決めてしまえば、よい人生を手に入れられると気づいた子どもの気持ち。

④ 行く前に購入するものを全て決めてしまったら、買い物物の楽しさがなくなってしまうと感じるように、いつ何を学ぶか先に決めてしまったら、将来がおもしろくないという気持ち。

⑤ 将来設計を事前に決めることで、いつ何を学ぶか事前に義務づけられることになり、それを全部やりきれるかどうか不安に感じる子どもの気持ち。

〔14〕 二重傍線部F「人間は『ちょっと手を貸して』というタイプの要請を断ることができない」とあるが、その理由として適切ではないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号〔14〕)

- ① 「救援の要請」の「救援信号」の宛て先はそれを聴き取った者だといえるから。
- ② 「支援要請」を聴き取ってしまった者は、「宛て先」に指名されるとただちに応答責任が発生するから。
- ③ 「助けて」という支援要請を聴き取った時に、それが冒険の始まるきっかけだとわかるから。
- ④ 人には、例えば井戸に落ちそうになった子どもを見たら、思わず助けようとする心根があるから。
- ⑤ 「あなたがそこにいることを私は願う」というメッセージを受け取ることになるから。

〔15〕 波線部「野暮ったい」の本文中における意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔15〕)

- ① 怖いもの知らずな
- ② 人情の機微がわかる
- ③ 礼儀正しい
- ④ 融通が利かない
- ⑤ やむを得ない

〔16〕 空欄部「あ」に入る文としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔16〕)

- ① 自分の支援を求める声に耳を傾けることなんです。
- ② 自分で将来設計をあらかじめ考えることなんです。
- ③ 支援されるために要請の声を上げることなんです。
- ④ 思いがけない出来事に巻き込まれないようにすることなんです。
- ⑤ 他者からの承認を求めることなんです。

〔17〕 空欄部「Q」に入る「死ぬまでの間」という意味の語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔17〕)

- ① 往生
- ② 相性
- ③ 有生
- ④ 不生
- ⑤ 終生

〔18〕 本文に関する内容とは異なるものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号〔18〕)

- ① 学校は「善意」で子どもたちが最短距離、最短時間で将来の目標を達成できるように、いつ何を学ぶかという工程表を作成させようとするため、子どもたちがほんとうに学校に期待していることを裏切っている。
- ② 誰かから呼びかけられたことをきっかけに、思いがけない出来事に巻き込まれるような学び方より、目標を決めて、わき目も振らず一切の外部情報を遮断して目的達成を目指すような学び方の方が効率がよく、学び方として優れている。
- ③ 「オン・デマンド」の教育では、学ぶ側からの要請はあるが、学ぶ側への要請がないために、学びの中での「アクシデント」が起こらず、その結果、目的を決めてまっしぐらに進む学び方になってしまう。
- ④ 「バイ・アクシデント」の学びは、思いがけずカン誘されたとか、特に興味はないけれどついていったとかの思いもかけない出来事の中でおこるものであり、高い確率で「天職」に出会うような学びとなるものである。
- ⑤ 「オン・デマンド」の教育は、学ぶ側の要請に応える形で進むものだから、学ぶ側のこういうことを学びたいという目標を達成するための工程表に従って学びを進めることになることから、学びは限定されているといえる。

(二) 次の文章を読んで問(19)～(36)に答えよ。

あらゆる悪意とその発露が根絶された理想社会を掲げて現状を嘆くのではなく、他の心に住まう悪意と闘い続けること、その暴走を許さずそれをしっかり制御すること、こうした努力のうちにこそ生きる価値を見つけるべきなのだ。人間の悪意を一律に抹殺することを目標にしてはならない。誤解を恐れずに言えば、悪意のうちにこそ人生の豊かさがある。それをいかに対処するかがその人の価値を決めるのである。

自分のうちに潜む攻撃心を圧殺してはならないということは、それを容認することではなく、ましてそれをそのまま肯定することではない。われわれは、むしろ差別感情に伴う攻撃心や悪意を保持したまま、自己を正当化することが多い。ここに、剥き出しの攻撃心や悪意よりはるかに悪質な、コウ妙に隠された攻撃心が育っていく。ここには、差別をしていないと言いながら紛れもない差別をしているという狡さが悪臭を放っている。

人間はさまざまな場面で狡いが、差別問題はこれが露出する場面である。そのうち最たるものは、「区別があるのであって差別はない」という主張であろう。これは、必ず差別をしている者の側から発せられる。

性差別に関して中河伸俊は、(もって回った言い方だが) 次のように語っている。

そして、少なくとも「先進産業社会」では、現実の不平等や支配の制度的な根強さとは対照的に、理念のレベルではその要求をめぐる勝負はついているとわかっていいだろう。これは、いいかえれば、近代の物差しをあてて女性／男性関係を測るかぎり、多くの男性は、経済財や地位、権力へのアクセスに有利な制度的アレンジメントにもたれかかっているという意味で、好むと好まざるとにかくかわらず自分が「足を踏んでいる」側にいると認めざるをえないということである。

B ある区別Dにおいて、現に得をしている側の者は、Dがただの区別であることを——たとえばそう確信しても——認めてはならない、という提案である。キ存の区別によって結果として利益を得ている者は、負い目をもたねばならない、無理にでもうしろめたい思いをしなければならぬ、という提案である。たまたま障害者に生まれなかったことを「感謝する」のではなく、障害者に対して負い目を抱く態度が必要だということ、たまたま美人に生まれたことに、たまたま秀才に生まれたことに感謝するのではなく、それを真正正メイの負い目として捉えねばならないということである。 **あ**

あらゆる提案と同じく、その根拠は確固としたものではない。最終的には原理原則、例えば「人間は平等だから」という抽象的原理に基づくのではない。そうではなくて、何度考えても全身で「そう感じられる」というところに行き着く。 **い**

さまざまな分野で成功している人がいる。その「原因」を尋ねれば、知的・肉体的に恵まれた資質、恵まれた環境、あるいはさまざまな偶然的出会いであることを否定することはできない。たとえば、その相当部分が当人の慧眼や努力に帰するとしても、そうした能力そのものに遺伝形質がサン与している

るかもしれないのであるから。

う

その場合、——ここを強調したい——当人が謙虚であるだけでは、このことが提起する問題（人生の理不尽そのものである問題）の解決にはならない。優れた資質をもつ者、あるいは賞賛すべき業績を上げた人が謙虚であることほど簡単なことはない。彼（女）はすでに多くの人々によって賛美されているのであるから、そのうえ傲慢になる必要がないのである。こうした人々が謙虚であることは、（いわゆる）劣った形質をもつ者、仕事の上で失敗した者、人生において幸運から見放された者が、卑屈にならず、自殺せず、犯罪に走らずに生き抜くことに比べて無限に容易である。

え

だから、優れた資質をもつ者や仕事上の成功者は、——謙虚になるのはもちろんのこと——そういう「星のもと」に生まれてこなかった膨大な数の人々に対して、とりわけ劣悪な資質のもとに生まれた人々や不運にあえぐ人々に対して負い目をもたねばならない。

お

もちろん、それが最終的解決にはならない。最終的解決はないかもしれない。だからこそ、その感情から眼を逸らすのではなく、そこに視点を固定して無理にでも自分のうちにうごめくさまざまな感情を捉えなおしてみることに、こうした態度からこそ差別問題解決の P が見えてくるように思われる。

こうした態度は、「自然である」という言葉を因習的・非反省的に使用する態度からの決別と言いなおしてもよい。フッサールの言葉を使えば、各人が自然的態度から「現象学的還元」を遂行して、そこに開かれる新たな世界を見渡すことがここに要求されている。なぜなら、差別問題において「これは、差別ではなく区別だ」と言い張る人は、「自然である」という言葉を因習的・非反省的に使いたくてもうずうずしているからである。それは男として自然だ、女として不自然だ、中学生として自然だ、本人として不自然だ……というように。彼はこうした反省を加えない「自然である」という言葉に行き着くことによって、すべての議論を終らせようとする怠惰な「自然主義者」なのである。

彼は、そこに潜む問題をあらためて見なおすことを拒否し、思考を停止させる人である。「結婚するのはあたりまえ、女が子供を産むのは自然」という結論をいつも手にしており、その鈍い刀ですべてをなぎ倒すのだ。

ある人が、差別におけるコンテクストにおいて「あたりまえ」「当然」「自然」という言葉を使用したら用心しなければならない。差別感情の考察において、「子供が学校に行くのはあたりまえ、大人の男が働くのは当然」と真顔で語る人こそ、差別問題を真剣に考えている人にとって最も手ごわい敵である。なぜなら、彼らはまったく自らの脳髓で思考しないで、ただ世間を支配する空気に合わせてマイノリティー（少数派）を裁いているのだから。しかも、そのことに気づかず、気づこうとしないのだから。

十年以上も前のことだが、大変悲しい事件が私のすぐ傍で起こった。就職のことも結婚のことも悩んでいた青年が葉山の海岸で入水自殺したのである。その通夜の席で、息子の棺を前にして父親は「結婚するのも、就職するのもあたりまえのことじゃないか！」と叫んでいた。私は「まさにそういう考えが彼を追い詰めたのだ」と涙を流しながら確信した。だが、私は何も言わなかった。そう語る父親の無念さがよくわかったからである。彼はもう十分すぎるほど苦しんでいたからである。息

子によって復讐しゅうされていたからである。

差別に対するとき、最大の敵は「よく考えないこと」である。あらゆる差別はよく考えないこと、すなわち思考の怠惰から発生する。よく考えないと、すさまじく複雑に入り組んでいる問題が鮮明に見えるようになるのに、よく考えない者にはそれが見えてこない。見えてこないから、そこに問題はないと思いつくのだ。こういう怠惰な輩やからが差別における最大の加害者である。しかも、自分が加害者であるとはつゆ思っていない鈍感エきわまりない加害者である。

(中島義道『差別感情の哲学』。なお、出題に際して本文を一部改めてある。)

注

* 1 中河伸俊：日本の社会学者、音楽研究者、関西大学名誉教授。(一九五一—)

* 2 フッサル：オーストリア出身のユダヤ系ドイツ人。現象学的哲学を確立した。(例えば日常で暗黙のうちに人智を超えた超越的存在を認めているという) 自然的態度を批判し、判断中止を行うことを現象学的還元とした。現象学的還元によって現象のみを観察し、記述することが可能となると述べた。(一八五九—一九三八)

* 3 コンテクスト：文脈のこと。

* 4 葉山：神奈川県の三浦半島西部に位置する葉山町のこと。

[19]～[22] 傍線部 a～d のカタカナで書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

a コウ妙 (解答番号 [19])

① 都市の近コウに住む。

② コウ乙つけがたい。

③ 判決に不服でコウ訴する。

④ チームにコウ献する。

⑤ 作のコウ拙は問わない。

b キ存 (解答番号 [20])

① 俳句にはキ語がある。

② 風キが乱れる。

③ 神仏にキ願する。

④ 先人のキ跡をたどる。

⑤ キ設の構造物を利用する。

c 正真正メイ (解答番号 [21])

① 人のメイ惑を気にしない。

② 社長のメイ令に従う。

③ 悲メイが聞こえた。

④ 本邦初公開とメイ打つ映画。

⑤ メイ土に旅立つ。

d サン与 (解答番号 [22])

① サン賊に襲われる。

② 舟からサン橋に降りる。

③ 弟はすぐ降サンする。

④ 運動場で解サンする。

⑤ 鉄がサン化する。

(23) 波線部ア「その暴走」の指す内容としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⁽²³⁾)

- ① 理想社会の暴走
- ② 発露の暴走
- ③ 悪意の暴走
- ④ 他の心の暴走
- ⑤ 闘いの暴走

(24) 波線部イ「誤解を恐れずに言えば」とあるが、どのような誤解を恐れていないのか。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⁽²⁴⁾)

- ① 人生を豊かに生きるには悪意こそが必要であるという誤解。
- ② 人間の悪意を一律に抹殺すべきであるという誤解。
- ③ 悪意を制御する努力の中にこそ生きる価値を見つけるべきであるという誤解。
- ④ コウ妙に隠された攻撃心が悪意の中に育つという誤解。
- ⑤ 悪意をいかに対処するかがその人の価値を決めるという誤解。

(25) 二重波線部A「狡さが悪臭を放っている」とは何を例えているか。その内容としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⁽²⁵⁾)

- ① 少なくとも「先進産業社会」では、現実の不平等や支配の制度的な根強さを背景に、多くの男性は自分に有利な制度になっていると自覚していないこと。
- ② 就職のことも結婚のことも悩んでいた青年が葉山の海岸で入水自殺したこと。
- ③ 自分のうちに潜む攻撃心を容認しないで、それをそのまま肯定することもしないで、圧殺しないように育てること。
- ④ 差別をしていないと言いながら紛れもない差別をしているという人のありかたのこと。
- ⑤ たまたま美人に生まれたことに、たまたま秀才に生まれたことに感謝するのではなく、たまたま劣った形質をもつ者や人生において幸運から見放された者を見下すこと。

(26) 波線部i「もって回った言い方」の本文における意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⁽²⁶⁾)

- ① 携帯を前提とする言い方のこと。
- ② 直接的な言い方のこと。
- ③ 婉曲えん的な言い方のこと。
- ④ 巡回しながらふれまわるような言い方のこと。
- ⑤ 抽象的な言い方のこと。

(27) 傍線部Ⅱ「もたれかかっている」の本文における意味としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号(27))

- ①「先進産業社会」では、現実の不平等や支配の制度的な根強さがあること。
- ②就職や学問などで男性に有利な仕組みになっているのを批判することなく受け入れること。
- ③近代の物差しをあてて女性と男性との関係を測ること。
- ④多くの男性が経済財や地位、権力へのアクセスに有利な制度をアレンジしていること。
- ⑤好むと好まざるとにかかわらず男性は自分が「足を踏んでいる」と認めざるをえないこと。

(28) 二重傍線部B「ある区別Dにおいて、現に得をしている側の者は、Dがただの区別であることをたとえそう確信しても——認めてはならない、という提案」に当てはまる具体例としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号(28))

- ①男性だから自分が得をしていると安易に認めないで、本当に得をしているかどうかについてあらためてたしかめなければならぬという提案。
- ②ある仕事で賞賛すべき業績を上げた人が、その成功の理由について他の人がまねできるようにわかりやすく伝えてはならないという提案。
- ③メディアで優れた歌唱を披露して注目されている歌手が、人よりも歌唱力が優れているから紅白歌合戦に選ばれたのだと認めてはならないという提案。
- ④人生において幸運から見放され、経済的に追い詰められてしまった人を、みんなで少しずつお金を出し合って助けようという提案。
- ⑤たまたま障害者に生まれなかった自分自身の境遇を障害者に対する負い目であると自覚しなければならぬという提案。

(29) 次の一文「そして、私はこうした感じの強い人間である。」が空欄 あ ー お のうちどこに入る。もっとも適切な場所を、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号(29))

- ① あ ② い ③ う ④ え ⑤ お

(30) 二重傍線部C「無限に容易である」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号(30))

- ①優れた資質をもつ人は、卑屈にならず、自殺せず、犯罪に走らないための努力が全く必要ない。
- ②劣った形質をもつ人が犯罪に走らずに生き抜くことができれば、非常に容易に賛美される。
- ③仕事の上で失敗した人が卑屈にならず、自殺せず、犯罪に走らずに生き抜くのはとても簡単である。
- ④謙虚に生きている人は多くの人からほめられるため、卑屈にならないで生き抜くことができる。
- ⑤資質に恵まれたり仕事で成功したりした人は、謙虚に生きようとするのに何の困難もない。

[31] 空欄 P に入る熟語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号^[31])

- ①糸口 ②誤解 ③根拠 ④感情 ⑤障害

[32] 二重傍線部 D 「怠惰な『自然主義者』」の説明としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号^[32])

- ① 「結婚するのはあたりまえ、女が子供を産むのは自然」という結論について考え直し続ける人。
② 自然的態度から「現象学的還元」を遂行して、そこに開かれる新たな世界を見渡す人。
③ 劣悪な資質のもとに生まれた人々や不運にあえぐ人々に対して負い目をもたねばならないと考える人。
④ 差別問題の最終的解決にはならないと見えているのに「これは、差別ではなく区別だ」と言い張る人。
⑤ 因習化した考え方にとらわれ、自分の主張を改めようとしらない人。

[33] 二重傍線部 E 「最も手ごわい敵である」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号^[33])

- ① 「子供が学校に行くのはあたりまえ」と真顔で言われると、返す言葉が見つからないから。
② 差別問題を真剣に考えている人は、真顔で語る人に対して真剣に対応しないといけないから。
③ 差別問題を考えている人は自分の脳で考えず、世間の空気に合わせているだけだから。
④ 思考の怠惰から生まれる差別感情により、差別と意識しないまま加害者になるから。
⑤ 「当然」「自然」という言葉は否定しようがないほど強力な意味をもっているから。

[34] 波線部 U 「そういう考え」とあるが、どのような考えなのか。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号^[34])

- ① 結婚や就職を全く疑うことなく当然の前提とする考え。
② 通夜の席で大声を出して息子の無念を叫ぼうとする考え。
③ 亡くなっている息子に対して自分の無念さを伝えようという考え。
④ 息子を非難し続けたら自分の思い通りになるという考え。
⑤ 悲しんでいる父親の姿を演じて周囲に同情してもらおうという考え。

〔35〕 波線部エ「鈍感きわまりない」の文章中の意味としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔35〕)

- ① 少しでも気が利かないこと。
- ② 緊張していても普段どおり振る舞うこと。
- ③ 限りなくするどく感じ取ること。
- ④ この上なく無神経であること。
- ⑤ 純粹さを果てしなく求めること。

〔36〕 本文の内容としてもっとも適切なものを次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号〔36〕)

- ① 「自然である」という言葉を因習的・非反省的に使用する態度から決別し、さまざま複雑に入り組んでいる問題から目をそらさず差別問題に向き合うことが要求されている。
- ② 自分のうちに潜む攻撃心を圧殺し、差別感情に伴う攻撃心や悪意を保持したまま、自己を正当化することを目標とするべきである。
- ③ 劣悪な資質のもとに生まれた人々や不運にあえぐ人々に対して負い目をもつことは差別問題の最終的解決にはならず、差別に潜む問題を常に見直す態度によってのみ差別は解決する。
- ④ 「差別があるのであって区別はない」という主張は、必ず差別をしている者の側から発せられ、差別をしていないと言いながら紛れもない差別をしている人間の狡さが露出する場面と言える。
- ⑤ 成功している人は、当人の慧眼や努力は関係なく、知的・肉体的に恵まれた資質、恵まれた環境、さまざまな偶然的出会いによって成功したため、たまたま運に恵まれたことを感謝すべきである。